多様化する振り込め詐欺（恐喝）に騙されるな

振り込め詐欺（恐喝）事件とは、いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）、架空請求詐欺（恐喝）、融資保証金詐欺、還付金等詐欺事件の総称を言います。

法律による規制が強化され、警察による検挙が新聞などで報道されているにもかかわらず、その手口はますます複雑巧妙化、かつ多様化しています。手口別形態と事例を参考に、被害防止に生かしていただきたいと思います。

１オレオレ詐欺（恐喝）

電話を利用して親族、弁護士、警察官などを装い交通事故示談金名目等で現金を預金口座に振り込ませるなどの方法によりだまし取る（脅し取る）詐欺（恐喝）事件のことを言います。

事例

息子をかたる男から電話があり「会社で 64 万円送金するところを誤って、640 万円を送金してしまった。差額分のお金を立て替えてくれ」と言われて、指定された銀行口座に 576 万円を振り込み、だまし取られた。

２架空請求詐欺（恐喝）

電話、郵便等を利用して不特定多数の者に対し、架空の事実を口実に料金を請求して、お金をだまし取る手口です。

事例

見知らぬ男から携帯電話に「出会い系サイトの会員登録料が未払いだ」と電話があった。利用している有料サイトのことと思い込み、指定された銀行口座に 28 万円を振り込んだ。その後「ほかのサイトにも自動的に会員になる。こちらの登録料も振り込んでください。お金は後で返却します」と次々振り込みを要求され、十数回にわたり計 840 万円余りを振り込み、だまし取られた。

３融資保証金詐欺

融資の意思がないのに、融資する旨を電話やダイレクトメールで誘い、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目でお金をだまし取る手口です。

事例

ダイレクトメールを見て申し込むと「融資の前に保証金を入れてほしい」と言われ、６万 5000 円を指定口座に振り込んだ。その後も「個人情報が流出している、それを止める」などと言われ、５回にわたって 32 万円を振り込み、だまし取られた。

４還付金等詐欺

税務署や社会保険事務所等をかたり、税金の還付金等に必要な手続きを装って銀行などの ATM を操作させ、口座間送金により現金をだまし取る手口です。

事例

地元の税務署員を名乗る男から「税金の還付金がある」と電話があったため、銀行に出向き携帯電話で指示されるまま ATM を操作したところ、相手口座に 99 万 7665 円を振り込み、だまし取られた。